

「(仮称) 第2次宇都宮市観光振興プラン(素案)」に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成30年1月15日(月)～2月9日(金)
- (2) 意見の応募者数・件数 5名(5件)
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	3			1	1	5

2 意見の概要と市の考え方

区分	処 理 区 分	数
A	意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	
B	意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みと考えるもの	3
C	計画案の参考とするもの	1
D	計画案に盛り込まないもの	
E	その他、要望・意見等	1
合計		5

① 観光振興について(5件)

No.	意見の内容	処理区分	意見に対する市の考え方
1	宇都宮市は餃子のまちとして、全国に有名であるが、餃子以外に何も無いのではないかと。餃子に次ぐ宇都宮観光の売りを発掘すべきではないかと。	B	本市の主な観光資源としましては、P8～11の「1 観光資源の特色」に記載がありますように、餃子以外にもジャズやカクテル、自転車、農産物などがあります。これらを、餃子と組み合わせたり、P30～31の「推進施策I-1 宇都宮ブランドの確立」に記載のとおり、それぞれの観光資源の磨き上げを行うとともに、新たな資源の発掘などに取り組んでまいります。

No.	意見の内容	処理区分	意見に対する市の考え方
2	<p>おもてなしと騒がれる昨今、市民にはあまりおもてなしの意識が浸透していないと感じる。</p> <p>市では、おもてなしを観光の要素として捉えているが、事業者は当然のことながら、市民に対しても積極的に啓発してほしい。</p>	B	<p>本市といたしましては、事業者、行政、市民が一体となって観光客を迎え入れることは、大変重要であると認識しており、P48～49の「2推進体制」に記載のとおり各主体の役割を明確にしたところであります。</p> <p>また、P41の「基本戦略Ⅳ 官民一体となったおもてなしの充実」に記載のとおり、官民一体となって、おもてなしの充実を図るとともに、市民へのおもてなしの啓発につきましては、広報紙やホームページなどにおいて積極的に情報発信を行い、市民の意識醸成などに取り組んでまいります。</p>
3	<p>市長が観光地として大谷に力を入れていくという姿勢の中、このプランにおいても、大谷地域の振興がキーワードとなっているように感じる。</p> <p>その中で、泊まれる大谷が観光地としていくためには必要だと思う。</p> <p>例えば、大谷の地下空間にホテルがあったら人気がでると思う。</p>	C	<p>大谷地域の観光振興につきましては、観光空間の磨き上げや魅力あるアクティビティの創造、大谷石文化の活用など、P32の「推進施策Ⅰ-2 大谷地域の再創生」に記載の施策を中心とした観光振興を図るとともに、P46の「大谷の魅力」フル活用プロジェクトを設定し重点的に取り組むこととしております。</p> <p>また、大谷の魅力を高めるため、使われていない建物などの活用も含め「泊まれる大谷」の実現に向けて取り組んでまいります。</p>

No.	意見の内容	処理区分	意見に対する市の考え方
4	<p>訪日外国人の増加や東京オリンピックの開催、本県におけるdestinationキャンペーンの開催等、観光に追い風が吹く中、観光入込客の設定が低く感じる。</p> <p>もっと高い目標を掲げるべきである。</p>	E	<p>国の観光立国の推進や東京オリンピック・パラリンピックの開催など、訪日外国人旅行者数は増加が見込まれておりますが、人口減少や高齢化の進行などにより、国内旅行者数は減少すると見込まれます。</p> <p>これらを踏まえ、本計画においては、P 47の「1 成果指標」に記載のあるよう、伸び率や施策推進による効果などを総合的に勘案し、目標値を設定しております。</p>
5	<p>国でも訪日外国人が増加すると予想している中で、日光市には多くの外国人が訪れている姿を見るが、宇都宮駅で乗り換えし、宇都宮市には訪れていないと感じる。</p> <p>これらは宇都宮市の外国人観光客に対するPRが弱いのではないかと。また、外国人の受入体制について、十分に整備されていないように感じるが、本計画ではどのように取り組んでいくのか。</p>	B	<p>本計画におきましては、外国人観光客を誘客するため、P 36の「II-2 インバウンドの推進」に記載のとおり、国外へ積極的なプロモーションに取り組むほか、外国人に訴求する観光資源の発掘と磨き上げを行ってまいります。</p> <p>また、P 42の「推進施策IV-2 国内外からの観光客受入体制の整備」や、P 43の「観光案内所の機能強化」、P 44の「ボランティアガイドの育成・支援」などに取り組むことで、外国人旅行者の受入体制の強化を図ってまいります。</p>